令和８年度第２回 広島市病院事業地方独立行政法人評価委員会 会議要旨

１　開催日時　令和 8 年 8 月 7 日（金）19 時 00 分～20 時 00 分

２　開催場所　広島市役所本庁舎 14 階　第 7 会議室

３　出 席 者

⑴　委　員

秋山委員長、板本委員、黒瀬委員、藤本委員、山本委員

⑵　事務局

保健医療担当局長、市立病院担当部長、市立病院担当課長

４　議　事

⑴　地方独立行政法人広島市立病院機構の令和７年度業務実績及び第３期中期目標期間における業務実績に係る評価案について

５　公開・非公開の別

公開

６　傍 聴 者

一般　　０名

報道関係　０社

７　会議資料

資料１　令和７年度の業務実績に係る小項目評価（案）

資料２　令和７年度　地方独立行政法人広島市立病院機構の業務実績に係る評価結果（案）

資料３　第３期中期目標期間における業務実績に係る評価（案）

資料４　第３期中期目標期間　地方独立行政法人広島市立病院機構の業務実績に係る評価結果（案）

８　会議要旨

⑴　令和７年度業務実績に関する評価について

ア　令和７年度業務実績に関する市評価案の説明

・事務局（市立病院担当課長）が、資料１、資料２により説明。

イ　質疑・意見交換

［秋山委員長］

・　市の評価を作成するに当たり、厳しくなったという個所はあるか。

［事務局（市立病院担当課長）］

・　大項目「経営の安定化の推進」の「経費の削減」及び「収入の確保」の項目について、市立病院機構においては努力をしたとして「４」、「３」と自己評価していた。しかし、これらの項目は、市立病院機構が令和７年度の年度計画において設定した数値目標があるため、それを基準に評価したことから、市の評価の方が厳しくなっている。

［藤本委員］
・　数値目標があるため、定量的な評価を重視したということか。

［事務局（市立病院担当課長）］
・　そのとおりである。

［藤本委員］
・　全体評価の評価コメントにおいて、経費削減の取組が「時間外勤務の削減など」とまとめられているが、効果が数値化できている時間外勤務の削減のほか、例えば共同購入などに取り組んでいるということであったと思う。市立病院機構は2期連続で大きな赤字となっているが、診療報酬の仕組み上、仕方がないものであり、効果が数値化できていない取組についても削減努力を評価した上で、一層の経費削減に努める必要があるとすべきではないか。

［事務局（保健医療担当局長）］
・　ご指摘を踏まえて、評価コメントの表現を修正したい。

［板本委員］
・　時間外勤務が1割弱削減されているが、医師の時間外勤務はどの程度削減されたか。働き方改革により、市内の救急医療の負担が基幹病院に来ていると感じている。

［事務局（市立病院担当課長）］
・　医師の時間外勤務は令和6年度が189,120時間、令和7年度が183,104時間で、約6,000時間削減されている。

［黒瀬委員］
・　全体評価の評価コメントの財務面において、病床利用率が向上しなかったこと等により、引き続き赤字となったとあるが、赤字の要因は病床利用率と考えているのか。

［事務局（保健医療担当局長）］
・　診療単価と病床利用率により収入を見込む中で、市立病院機構において病床利用率の目標値を設定しているが、結果としてそれを達成できていないという意味合いである。

⑵　第３期中期目標期間における業務実績に関する評価について

ア　第３期中期目標期間終了時に見込まれる業務実績に関する市評価案の説明

・事務局（市立病院担当課長）が、資料３、資料４により説明。

イ　質疑・意見交換

なし